

モリエール 恋こそ喜劇 (2007)

MOLIERE

メディア 映画

ジャンル 歴史劇 ロマン ス コメディ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 120分

初公開日 2010/03/06

公開情報 セテラ・インターナショナル

映倫 G

【キャッチコピー】

笑いの中に
人生がある

イギリスにはシェイクスピアが、フランスには喜劇の天才、モリエールがいた。

【解説】

17世紀のフランスを代表する劇作家モリエールの若き日の無名時代に焦点を当て、彼のバイオグラフィの空白期間とされる数ヶ月間の出来事を、名作誕生の知られざる秘話という形で描き出す伝記フィクション。主演は「スパニッシュ・アパートメント」「PARIS (パリ)」のロマン・デュリス。監督はこれが長編2作目の新鋭ローラン・ティラール。

1644年、フランス。22歳の青年モリエールは駆け出しの劇作家兼役者。仲間と共に意気込んで劇団“盛名座”を旗揚げしたものの借金がかさみ、債権者に追われる日々。そんな時、金持ちの商人ムッシュ・ジュールダンが、ある提案を持ちかける。美しき公爵夫人セリメーヌの心を射止めるべく、自作の芝居を披露しようとして目論んでいたジュールダンが、借金の肩代わりと引き換えにモリエールを演劇の指南役に迎えたいというのだ。こうして、妻と子供たちに悟られないよう、司祭“タルチュフ”と名乗り末娘の教育係としてジュールダン家に潜り込んだモリエールだったが、あろうことかジュールダンの妻マダム・ジュールダンと恋に落ちてしまい…。

【クレジット】

監督	ローラン・ティラール	Laurent Tirard	
製作	オリヴィエ・デルボス	Olivier Delbosc	
	マルク・ミソニエ	Marc Missonnier	
製作総指揮	クリスティーヌ・ドゥ・ジェケル	Christine De Jekel	
脚本	ローラン・ティラール	Laurent Tirard	
	グレゴワール・ヴィニユロン	Grégoire Vigneron	
撮影	ジル・アンリ	Gilles Henry	
美術	フランソワーズ・デュペルテュイ	Françoise Dupertuis	
衣装	ピエール＝ジャン・ラロック	Pierre-Jean Larroque	
音楽	フレデリック・タルゴーン	Frederic Talgorn	
出演	ロマン・デュリス	Romain Duris	モリエール
	ファブリス・ルキーニ	Fabrice Luchini	ムッシュ・ジュールダン
	リュディヴィーヌ・サニエ	Ludivine Sagnier	セリメーヌ

ラウラ・モランテ	Laura Morante	マダム・ジョルダン／エルミール
エドゥアール・ベール	Edouard Baer	ドラント伯爵
ファニー・ヴァレット	Fanny Valette	アンリエット・ジュールダン
ゴンザーグ・モンテュエル	Gonzague Montuel	ヴァレール
ジリアン・ペトロフスキー	Gilian Petrovski	トマ